

平成25年度

教科・科目名 科学年系コース	家庭科 家庭基礎 航空普通科2年	授業時間数/週	2時間	
授業の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につけさせる。			
授業内容の方法	プリントを中心に進める。実験・実習を随時取り入れ、興味関心を持って学習できるよう進める。			
評価方法について	試験 70点 評点 30点			
使用テキスト				
教科書	高等学校 新家庭基礎－生活の創造をめざして－ 大修館書店			
副教材				
年間授業計画	<p>前期</p> <p>4月 人生をみつめる ・自分の生活をみつめよう ・人生を展望しよう</p> <p>5月 ともに生きる ・家族をみつめる</p> <p>6月 資源をいかす ・家庭の経済生活をみつめよう ・消費生活について考えよう ・消費者の権利と責任について</p> <p>7月 住生活を営む ・住生活をみつめよう ・健康で安全な住生活のために</p> <p>9月 衣生活を営む ・健康で快適な衣生活のために ・基礎縫い</p>	<p>後期</p> <p>10月 衣生活を営む ・製作実習</p> <p>11月 } 食生活を営む</p> <p>12月 } ・健康な食生活のために</p> <p>1月 } ・身体に必要な栄養素と食品 ・調理の基本 ・調理実習</p> <p>2月 } ともに生きる</p> <p>3月 } ・子どもの成長・発達と生活について知ろう ・子どもの人権と福祉について考えよう</p>		

平成25年度 家庭科 家庭基礎 航空科普通科 2年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 6時間	「家庭基礎」を学ぶにあたって 第1章 人生をみつめる 1. 自分の生活を見つめよう 2. 人生を展望しよう	<ul style="list-style-type: none"> なぜ「家庭基礎」を学ぶのか目的意識をもたせる。 自分自身についてみつめ、自己理解を深めさせる。 青年期の特徴を理解させ、今後のライフコースを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身を見つめ、ライフコースの展望をもつことができる。 青年期の特徴を理解することができる。
5月 配当時間 8時間	第2章 ともに生きる 1. 家族を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> 家族形態が変化、多様化している現状を取り上げ、社会との関わりかたを気づかせる。 家族に関する法律の内容を理解し、時代とともに変化する家族法について気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の家族の特徴や家庭の機能の変化について気づくことができる。 家族に関する法律の内容を理解することができる。
6月 配当時間 8時間	第3章 資源を生かす 1. 家庭の経済生活を見つめよう 2. 消費生活について考えよう 3. 消費者の権利と責任について	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化にともなう消費生活の現状を取り上げ、適切な消費行動について考えさせる。 悪質商法の種類と内容について理解させる。 契約をめぐるトラブルの特徴としくみを理解させる。 クレジットカードのしくみや利用上の留意事項を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の変化と消費生活について関心をもち、適切な消費行動について考えようとしている。 悪質商法の種類を内容について理解することができる。 クーリングオフ制度について理解することができる。 クレジットカードのしくみや利用上の留意事項が理解することができる。
7月 配当時間 6時間	第4章 生活を営む 3. 住生活を営む (1)住生活を見つめよう (2)健康で安全な住生活のために	<ul style="list-style-type: none"> ライフスタイルやライフステージに合った住居のありかたを考えさせる。 平面図を読み取り、住空間づくりができるようにする。 健康で安全かつ快適な住生活のありかたについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに合った適切な住居の計画や選択ができる。 事例を通して自分に合った適切な住居について研究したり、すすんで発表したりすることができる。 健康で安全かつ快適な住生活のありかたを理解することができる。
9月 配当時間 6時間	第4章 生活を営む 2. 衣生活を営む (2)健康で快適な衣生活のために ・気持ちよく着る工夫 ☆基礎縫い	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の機能を確認させる。 被服材料の種類、性能、性能向上のための各種加工法を理解させる。 既製衣料品には表示があることを知らせ、その内容について理解させる。 界面活性剤の働きを理解させる。 基礎縫いや基本的なボタン付け等、衣服修繕の基本を確実に身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の機能について理解することができる。 天然繊維と化学繊維の種類や特徴がわかる。 繊維製品の加工法とその特徴がわかる。 表示の見方と具体的な扱い方が理解できる。 界面活性剤の働きが理解することができる。 基礎縫いや基本的なボタン付け、ホックの取り付けをすることができる。

平成25年度 家庭科 家庭基礎 航空科普通科 2年 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
後期 10月 配当時間 8時間	☆製作実習	・ミシンの各部の名称を確認させ、正しい扱い方を身につけさせる。	・ミシンの名称を言えるようになる。 ・ミシンを正しく扱うことができる。 ・意欲的に作品製作に取り組むことができる。
11月 配当時間 8時間	第4章 生活を営む 1. 食生活を営む (1)食生活をみつめよう (2)健康な食生活のために ・体に必要な栄養素と食品 ○炭水化物 ○脂質 ○たんぱく質 ○無機質 ○ビタミン	・わが国の食生活の現状を伝え、自らの食生活について考えさせる。 ・健康な食生活をおくるには、どのような栄養素をどれくらい摂ればよいのかを理解させる。 ・5大栄養素のそれぞれの働きを理解させる。	・わが国の食生活の現状を理解し、食生活について関心をもつことができる。 ・栄養的にバランスのとれた食事の重要性を理解することができる ・5大栄養素のそれぞれの働きがわかる。 ・栄養所要量と食品群別摂取量のめやすについて理解することができる。
12月 配当時間 6時間	(3)安全な食生活のために (4)食事をつくってみよう ・調理の基本 ☆調理実習①: 日本料理 ☆調理実習②: 西洋料理 ☆調理実習③: 中華料理	・食品の鑑別や購入できる能力を身につけさせる。 ・食品の適切な保存の方法を知らせ、利用できるように理解させる。 ・調理をおこなうための機器の利用のしかたや、安全への配慮を確認させる。 ・日本料理のよさや特徴を理解させ、正しく安全に調理させる。 ・西洋料理のよさや特徴を理解させ、中華料理のよさや特徴を理解させ、正しく安全に調理させる。 ・盛りつけの大切さを理解させる。	・安全で衛生的な食生活について考えようとしている ・食品の腐敗や変敗、食中毒、食品添加物について理解することができる。 ・安全と衛生に配慮した調理ができる。 ・調理の基礎技術を身につけている。 ・日本料理のよさや特徴を理解し、すすんで調理実習に取り組んでいる。 ・中華料理のよさや特徴を理解し、すすんで調理実習に取り組んでいる。 ・盛りつけの大切さを理解し、工夫することができる。
1月 配当時間 6時間			
2月 配当時間6 時間	第2章 ともに生きる 2. 子どもを育てる (1)子どもの成長、発達と生活について知ろう	・少子化の現状や子育ての社会的支援について取り上げる。 ・子どもの心身の発達とその特徴を理解させる。 ・遊びの意義や生活習慣の形成、食生活について理解させる。	・少子化の現状について理解している。 ・子どもを取り巻く環境の変化を知り、親や家族、社会的支援のありかたについて考えることができる。 ・子どもの心身の発達とその特徴を理解することができる。 ・遊びの意義や生活習慣の形成、食生活について理解することができる。
3月 配当時間2 時間	(2)親になることを考えよう (3)子ども人権と福祉について考えよう	・子どもの人間形成のために必要な親の役割を理解させる。 ・子育ての支援のニーズとその社会的重要性を考えさせる。 ・子どもの権利条件や児童福祉法について知らせ、子どもの人権について理解させる。	・親の役割と保育について具体的に理解することができる。 ・子育てには社会全体の支援が必要であることを理解することができる。 ・子どもの権利条件や児童福祉法について理解することができる。 ・子どもの人権について考えを深めようとしている。